

城端線・氷見線利用状況調査について

城端線・氷見線利用者の乗車目的・乗車形態・乗車区間など、現在の利用実態を把握するため、全駅において乗降者数カウント調査を行うとともに、沿線住民へのアンケート調査を実施した。

1 乗降カウント調査

- (1) 調査日 平日：平成 29 年 9 月 21 日（木） 休日：平成 29 年 9 月 10 日（日）
 (2) 対象 JR 城端線、氷見線の全列車を対象に、城端線の各駅（高岡駅～城端駅）及び氷見線の各駅（高岡駅～氷見駅）において、運行列車の便別に乗車人数、降車人数をカウント。平日朝に 2 便運行される富山駅直通列車については、高岡駅到着後の乗降者数についても把握。

路線名	駅数	便数	
		上り	下り
城端線	14 駅	22 便	21 便
氷見線	8 駅	19 便	18 便

2 乗降カウント調査の結果

年間乗車人数の推計値を 365 日で除して 1 日あたりの乗車人数を算出した。

推計の結果、城端線の 1 日あたりの乗車人数は、6,946 人、氷見線では 1 日あたり 4,777 人となる。このうち、高岡駅を除く乗車人数は、城端線で 1 日あたり 4,562 人、氷見線では 1 日あたり 2,868 人である。

昨年度調査と比較すると、駅によって増減はあるが、城端線は微増、氷見線は微減で全体としてほぼ同数となった。

1 日当たり乗車人数の推計値

(人／日)

線 名	駅 名	平成 29 年	平成 28 年	H29/H28
城端線	高岡駅(城端線)	2,384	2,205	1.08
	新高岡駅	524	500	1.05
	二塚	35	34	1.03
	林	28	27	1.04
	戸出	799	839	0.95
	油田	347	305	1.14
	砺波	1,072	1,065	1.01
	東野尻	143	125	1.14
	高儀	113	75	1.51
	福野	612	710	0.86
	東石黒	45	34	1.32
	福光	526	558	0.94
	越中山田	54	39	1.38
	城端	264	241	1.10
	城端線合計	6,946	6,757	1.03
氷見線	高岡駅(氷見線)	1,909	2,038	0.94
	越中中川	1,101	1,169	0.94
	能町	145	168	0.86
	伏木	214	288	0.74
	越中国分	314	285	1.10
	雨晴	90	80	1.13
	島尾	199	205	0.97
	氷見	805	862	0.93
	氷見線合計	4,777	5,095	0.94
全 体		11,723	11,852	0.99

3 アンケート調査結果

沿線住民に対して、城端線・氷見線の運行及び利用意向等に関するアンケートを実施した。

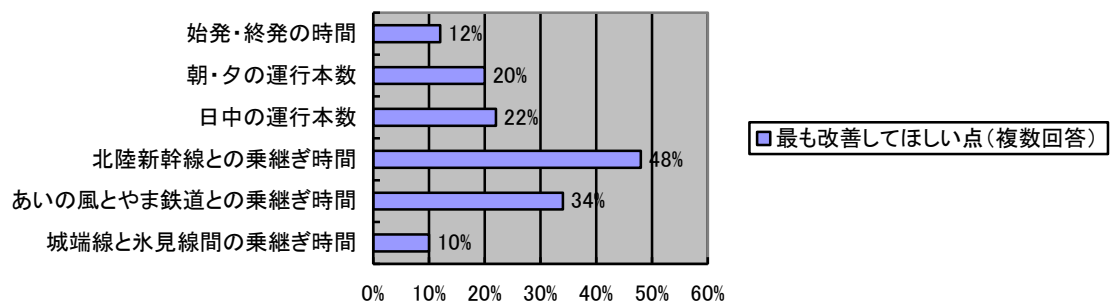
(1) 調査期間 平成 30 年 2 月 1 日（木）から調査票を配布し、平成 30 年 2 月 23 日（金）までの回収分

(2) 対象 沿線住民（駅から半径 2 km 圏内の 16 歳以上の男女（外国人除く））無作為抽出 2,500 人

	配布数	回収数			回収率	参考 H28 回収率
		男性	女性	合計		
氷見市	500	51	90	141	28.2%	39.6%
高岡市	1,000	146	198	344	34.4%	37.0%
砺波市	500	81	112	193	38.6%	46.6%
南砺市	500	90	154	244	48.8%	49.6%
計	2,500	368	554	922	36.9%	42.0%

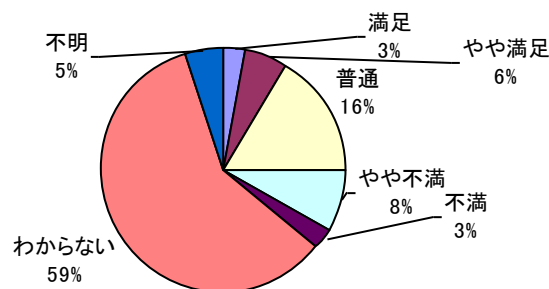
①城端線・氷見線の運行について、最も改善してほしい点（複数回答）

城端線・氷見線の運行について、最も改善してほしい点の回答割合をみると、「北陸新幹線との乗継ぎ時間」(48%) が最も高く、次いで「あいの風とやま鉄道との乗継ぎ時間」(34%)、「日中の運行本数」(22%)、「朝・夕の運行本数」(20%) の順である。乗継ぎ時間に関する改善の回答割合が高い。



②城端線の運行本数に関する満足度

増便試行運行を実施している城端線の運行本数の満足度については、「わからない」が 59%存在し、次いで、「普通」(16%)、「やや不満」(8%) の順に高くなっている。「満足」、「やや満足」と回答した割合の合計は、約 10%であった。回答比率は、H28 調査と大きな違いはない。



③城端線・氷見線に交通系 IC カードが導入された際の利用意志

城端線・氷見線に交通系 IC カードが導入された際の利用意志に関しては、「分からない」が 31%存在するものの、「切符を購入する必要が無く便利なので利用したい」(23%)、「鉄道以外でも活用できるなら利用してもよい」(23%) と利用に前向きな回答が 46%と半数近くみられる。回答比率は、H28 調査と大きな違いはない。

